

パンデミックの予防、備え及び対応（PPR）に関するWHOの新たな法的文書作成 のための第9回政府間交渉会議再開会合結果概要 （2024年4月29日～5月10日、同月20日～24日） （於：ジュネーブ）

令和6年（2024年）5月25日
外務省国際保健戦略官室

1 会議の概要

※INB: Intergovernmental negotiating body

- 4月29日～5月10日及び5月20日～24日にINB9再開会合が開催され、会期中に加盟国間で条文案を議論したが、交渉妥結には至らなかった。
- この結果を踏まえ、今後の進め方について議論した結果、政府間交渉会議（INB）は、第77回世界保健総会に提出する報告書をコンセンサスで採択した。同報告書には、INBの成果として、5月24日正午（現地時間）時点でのテキスト案が添付されている。

2 日本の基本方針

- パンデミックの予防、備え及び対応（PPR）の強化のため、国際的な規範の強化は重要。
 - 交渉を通じて、本条約の内容をPPRの強化にとって真に意味のあるものとし、かつ、主要国を含む多くの国が合意できる普遍性を確保することが重要。
- 上記の観点から、国際的な感染症対策の強化のため引き続き建設的に参加・貢献していく。

3 今後の予定

5月27日～6月1日 第77回WHO総会